

1. 星野先生のビデオでは、末期癌からの生還者はほとんどがゲルソン療法と尿療法を併用されていたようですが、メラノーマの場合、尿療法との併用は何か問題があるでしょうか。
⇒問題なし
 2. メールによるアドバイスで、効果のある間は現在実施中の抗癌剤治療（DAV）を続行することに決めておりますが、DAVで効果が無くなってきた場合もっと副作用の強いCDV、DAC t a mに切り替えてでも、抗癌剤治療を続けるべきでしょうか。
⇒IL2と交互にすることも考えられる。フェロンと同じようなもの。
 3. 医学統計データでは、化学療法を実施した場合でもメラノーマ4期の10年後生存率は0%と書かれているようですが、ゲルソン療法を初め、代替療法を実施した場合でのデータはありますか。
もしあればその数字は？
⇒ある。欧米では特に多い。
- 自己リンパ球療法（メラノーマで初めて成功）、IL2 共に広大でもやっているはず？
 - 経費ペプチド療法
 - 温熱療法で抗癌剤量減らす。保険外だが広大にもあるはず？
キーワード：ハイパーサーミア学会
 - 海風診療所（周南）：刺絡療法によりリンパ球数のベースを高めるのも良い。10回位目安。
 - 腹式呼吸30回／日実行。気功。
 - 補剤として「十全大補湯」がコストパフォーマンス良い。保険利く。副作用無し。
 - サプリメントはビタミンCが主役。
 - サリドマイドも効く。保険利く。
 - 体重を観測すること。
 - 魚は食べてもOK
 - コショウ、ターメリック（カレー）、ワサビもOK。特にターメリックは体に良い。